

令和5年第11回

荒川区教育委員会定例会

令和5年6月9日

於)特別会議室

荒川区教育委員会

令和4年荒川区教育委員会第11回定例会

- | | | |
|--------|---|--|
| 1 日 時 | 令和5年6月9日 | 午後3時30分 |
| 2 場 所 | 特別会議室 | |
| 3 出席委員 | 教 育 長
教育長職務代理者
委 員
委 員
委 員 | 高 梨 博 和
坂 田 一 郎
小 林 敦 子
繁 田 雅 弘
長 島 啓 記 |
| 4 出席職員 | 教 育 部 長
教育総務課長
教育施設課長
学 務 課 長
指 導 室 長
教育センター所長
生涯学習課長
ゆいの森課長
書 記
書 記
書 記
書 記 | 三 枝 直 樹
山 形 実
的 場 寛
佐 藤 彰 洋
下 条 知 淑
杉 山 茂
青 谷 宗 彦
山 下 英 男
松 本 典 之
齋 藤 一 幸
丸 田 恭 雅
宮 島 弘 江 |

(1) 報告事項

- ア 防災ヘルメットの整備について
- イ 校庭に埋没されたクギに関する安全点検の実施について
- ウ 感染症に伴う学級閉鎖等の状況について
- エ 第16回柳田邦男絵本大賞の実施について
- オ 第42回「あらかわの伝統技術展」の開催について

(2) その他

教育長 定刻になりましたので、ただいまから荒川区教育委員会令和5年第11回定例会を開催させていただきます。

初めに、出席者数の御報告を申し上げます。本日、5名全員出席でございます。

議事録の署名につきましては、坂田委員、繁田委員、御両名にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

2月24日開催の第4回定例会及び3月10日開催の第5回定例会の議事録につきましては、前回の定例会にて配付させていただき、この間、委員の皆様にご確認いただいたところでございます。本日、特に御意見等がなければ承認とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声)

教育長 それでは、承認といたします。

また、3月24日開催の第6回定例会の議事録を皆様にお送りしてございます。次回の定例会で承認についてお諮りいたしたいと考えてございますので、次回までにお手数ですけれども御確認いただき、お気付きの点等について事務局まで御連絡をお願いいたします。

それでは、ただいまから本日の議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

本日は報告事項のみ5件となっております。

初めに、報告事項ア「防災ヘルメットの整備について」を議題といたします。山形教育総務課長、説明をお願いします。

教育総務課長 「防災ヘルメットの整備について」御説明申し上げます。

ポイントでございます。地震など大規模災害が発生した場合に備えまして、区立中学校全生徒用に防災ヘルメットを整備するものでございます。

内容、目的でございます。生徒が避難時等におきまして落下物から頭部を守るため、防災用ヘルメットを整備することにより、一層の安全性の確保を図るものでございます。

防災ヘルメットの整備状況でございます。まず、全中学校にございます防災部の生徒につきましては、防災ヘルメットをはじめといたしました装備品が既に貸与されているところでございます。同じように、教職員につきましても、発生時の活動用に防災ヘルメットが貸与されているところでございます。

配布予定生徒人数でございます。中学校の全生徒、5月1日現在で3,403人が対象となっております。

予算額につきましては、1,518万4,400円を考えているところでございます。

整備内容でございます。実際の整備に当たりましては、中学校長会とも検討を行ったところでございます。そこを踏まえまして、以下に述べます3点について内容を固めたところで

ございます。

1点目、ヘルメットの形状については、折りたたみヘルメットといたします。

2点目、ヘルメットの耐用年数が6年であるため、個人への支給ではなく学校への貸与と考えております。

3点目、ヘルメットの保管につきましては、保管用カバーを椅子にかけて収納する方法と考えているところでございます。

実際に中学校長会が選んだヘルメットがこれでございます。

教育長 では、回覧いたしますので、手に取って御確認をお願いいたします。

<ヘルメット現物回覧>

教育総務課長 ヘルメットもいろいろな種類がございますけれども、それを選んだのは、実際に操作のしやすさ、扱いやすさ、場合によっては折りたたみをするのがちょっと難しい物もあります。なるべく誰でも扱えるような物と考えているところでございます。

また、先ほどもございましたように、これまで配りました防災部のヘルメットですとか、教職員のヘルメットについては折りたたみ式ではございません。やはり場所の確保、教室に置いておく場所がないと。例えば35人の学級だと35個のヘルメットをそのまま置いておく場所がないというので折りたたみヘルメットを選んだところでございます。

また、収納につきましても、各学校が椅子の下にネット式で置く場合と、袋みたいなもので横にかけると、ヒップバッグみたいに椅子の背もたれの下ぐらいのところに下げる形を、各学校の現状に合わせて整備したいと考えてございます。

ヘルメットについては統一で考えてございますけれども、収納方法については各学校の教室とか生徒の状況とかに合わせて変えることになっているところでございます。

教育長 ただいま説明、そして実物を見ていただいておりますけれども、御質問、御意見等ございましたら、お願いいたします。坂田委員。

坂田委員 都内で先に導入している区はあるのですか。

教育総務課長 これまで9区が導入してございます。千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、品川区、目黒区、大田区でございます。区によっては折りたたみ式になる前に、東日本震災後に導入している区はまだ折りたたみ式は出てなかったもので、折りたたみ式の前の形で配置をしているところなんです。早い区については、だんだん更新が始まっているところでございます。

坂田委員 分かりました。

教育長 そのほか、いかがでしょうか。

小林委員 扱いやすいと思うのですけれども、やはり少し慣れが必要かなという気もして。

着用しての訓練なども実施の予定なのでしょうか。

教育総務課長 現在においても全小・中学校は毎月防災訓練、避難訓練を行っているところでございます。それも踏まえまして、こういう機種にしております。業者によってはこの紙のパッケージも本棚にしまっておくという、災害時だけ使う想定をしているようなところもあるのですが、荒川区の場合、全校・全クラスで毎月訓練をやっておりますので、いつでも使えるような状態が重要です。生徒も、当初は戸惑うこともあると思いますが、毎月使っているうちに慣れてくると思っているところでございます。

小林委員 ありがとうございます。

教育長 長島委員。

長島委員 今回、中学校ということですがけれども、小学校ではどうなっていますでしょうか。

教育総務課長 小学校については、今現在は防災頭巾というのが、保護者が入学時に購入した物を使っているところでございます。小学校のヘルメットについても、4区ほど導入しているところでございます。

ただ、やはり課題があるようで、例えばまだ折りたたみ式ではなく置き場所に困るですとか、一番難しいところは、小学校の場合は子どもが成長すると頭のサイズが違ってしまふということと、耐用年数が6年なので、最初小学校1年生で大きいヘルメットのままでいいという訳にはいかないものですから、その辺が非常に悩ましいところでございます。

今後、可否も含めてほかの自治体の状況も踏まえまして検討は進めてまいりたいと考えております。

教育長 繁田委員。

繁田委員 今の頭の大きさの話なのですからけれども、サイズはワンサイズなのですか。中学生でもかなり個人差があるかなとは思っているのですけれども。

教育総務課長 ここの内側のベルト、ここで調整が効きます。帽子のようにサイズが調整できます。外側からはないのですけれども、中側は調整できますし、さらにこれは取り外せる、傷んでも交換ができるような形状になってございますので、中学生であればほぼ対応ができるサイズにはなっております。

ただ、小学校低学年になりますとやはり子ども用という、もっと小さいヘルメットが一般的かなと思っております。防災頭巾については頭巾でございますのでサイズは全く関係ないところでございます。

繁田委員 ありがとうございます。

教育長 よろしいでしょうか。ちなみに配布予定時期はいつですか。

教育総務課長 今回、6月の文教・子育て支援委員会に報告した後に、契約を早期に実施した

いと思っております。できましたら9月の、2学期初めに防災訓練がありますので、それまでには入れたいと思っております。

一方、今、自転車用ヘルメットが努力義務化をしていて、場合によってはそれとバッティングをしてしまうので、時期的に間に合うかどうかについては、これからまた契約をなるべく早期に行って、9月には間に合わせたいというのが、私たちの意向でございます。

教育長 そのほかよろしいでしょうか。では、次に移らせていただきます。

報告事項イ「校庭に埋没されたクギに関する安全点検の実施について」を議題といたします。的場教育施設課長、説明をお願いします。

教育施設課長 「校庭に埋没されたクギに関する安全点検の実施について」でございます。

この案件につきましては、令和5年4月13日、他区の小学校の体育の授業中に児童が転倒したところ、校庭から頭を出していたクギに引っかかって、十数針縫うという事故が発生しております。その事故を受けて、5月11日に東京新聞の方でその内容を記事として掲載しております。

荒川区立の全小・中学校と幼稚園にその内容を周知いたしました。併せて、事故を未然に予防するために、教職員による校庭の調査を依頼したところでございます。

何本か出てきてはいるのですけれども、出てきたクギについてはその場ですべて除却してございまして、事故が発生しないというところでは効果があったと考えてございます。実際に出てきたクギは258本という数字で報告がされてございます。学校数についても小学校のみ6校で発見されてございます。

その後、さらなる安全確保のため、ゴムチップと人工芝の学校を除くダストですとか土系の校庭を持った学校を対象に、金属探知機で詳細点検を今実施しているところでございます。この内容については集計が終わった後、また改めてホームページ等で周知をしていきたいと考えているところでございます。

いずれにしても子どもの安全を確保するために、校長先生、副校長先生を先頭に調査が実施できたということで効果があったものと思っております。

6月6日付でホームページで周知も終わっているところでございます。説明は以上になります。

教育長 本件について御質問等ございましたらお願いいたします。繁田委員。

繁田委員 クギが埋没した経緯に関しては、推定というか推測というか、どういう経緯が分かっているか教えていただきたいと思っております。

教育施設課長 杉並区もそうだったのですけれども、恐らく運動会とか校庭で行うイベントのときにラインを引くためクギを打って、子どもたちの立ち位置を示すためにクギを中心にし

て円を描いたと思われます。

<釘現物確認>

繁田委員 ああ、なるほど。それで、描いた後にちゃんと取る作業を、今後はしていただくことはできるのですか。

教育施設課長 実際、これまでも抜いてはいたということなのですが、やはり全部が全部抜けていたわけではなくて、残ってしまっていた物もあったということで、今後はしっかりと除去してまいります。

繁田委員 あと、今さらですけれども、けがが大きいと言われているじゃないですか。スライディングしてということですか。

教育施設課長 細かいところまで記事には書いてなかったのですが、恐らく転んだときの滑った勢いでひざとかに引っかかって切れてしまったと思われます。

繁田委員 滑らないと多分十数針はいかないと思います。転んで刺さったとかであればまた別の処置になると思うので。御本人は大変だったと思います。

教育施設課長 大変痛い思いをしたのだと思います。

教育長 他区の事例ですけれども、他山の石として荒川区で事故が起きないように緊急点検を実施することといたしました。先生方には運動会の御視察いただきましたけれども、運動会の開催の前に極力点検を実施したところでございます。

それでは続いて、報告事項ウ「感染症に伴う学級閉鎖等の状況について」を議題といたします。佐藤学務課長、説明をお願いします。

学務課長 それでは「感染症に伴う学級閉鎖等の状況について」御報告をさせていただきます。

資料は7、8ページとなります。5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されまして、約1か月が経過しましたが、新型コロナウイルス以外にもインフルエンザ等の感染状況が確認されておりますため、お知らせするものでございます。

学級閉鎖につきましては6月6日現在ですが、新型コロナウイルスによるものが2校5クラス、インフルエンザによるものが3校5クラス、感染性胃腸炎によるものが1校2クラスということで対応を行ったところでございます。

また、この資料には反映されておりませんが、昨日連絡が追加で入りまして、新型コロナウイルスによるものが追加で2校2クラス、インフルエンザによるものが1校1クラスということで報告がございました。それぞれ本日学級閉鎖をしまして、この週末も含めて様子を見ていただくということにしております。

各校における状況としましては、通常どおり授業を行っていた学校もございまして、また運動会など行事で人が多く集まる機会もあるなど、様々な状況ではございました。学校にお

いては5類移行後も教室の換気ですとか、うがい、手指衛生の指導なども継続的に行っているところがございます。

これから梅雨の時期に入ってきますと、湿度も高くなり、また気温も上昇して、体調管理が大切な時期になってまいりますので、学校にも保護者の皆様と連携を取っていただきながら適切な対応に努めていただくよう、我々もサポートしていきたいと考えてございます。説明は以上でございます。

教育長 本件につきまして御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

繁田先生、コロナもそうなのですけれども、今の時期になってもインフルエンザというのはやっている状況なのですが、先生、この点についてはいかがでしょう。

繁田委員 僕もちょっと十分その理由は分からないのですけれども、医療機関ではインフルエンザは全然増えていないのです。教育関係では閉鎖があちこちで、荒川区に限らず起きているというのを聞いて、病院ではあまりその意識がなくて、むしろ病院ではコロナが増えていると思います。多分、昨日今日で、推定ですけれども4,500人という推定なのです。定期的に職員に連絡があるのですが、コロナが増えているので我々はちゃんとマスクをしましょうと言われていています。

ですが、インフルエンザはそうでもないのに、年齢なのかなという気はするのですけれども。以前は冬だったのです。やはりなんと言ってもウイルスは乾燥が働きやすいとか活動しやすいので、それがだんだん前倒しになってきて秋口からあるいはもうちょっと早くからという、その流れではあるなと思います。

ただこれが、逆に今度はインフルエンザが危険なのでみんなでマスクをしましょうというのとはちょっと違う気はする。そこら辺は慎重であっていいかなという気はします。せっかく学校の子もたちはみんな元気にマスクを外して走り回る生活に戻りつつあって、着けない子もちゃんと普通に学校で勉強して運動もしているので、その辺りはちょっと、心配ないとは言えませんが、あまり神経質にならないほうがいいかなと思います。今後ずっとこんなことが続いていくのではないかと思いますので。

教育長 どうもありがとうございました。そのほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告事項工「第16回柳田邦男絵本大賞の実施について」を議題といたします。山下ゆいの森課長、説明をお願いします。

ゆいの森課長 配付資料でいきますと9ページ及び10ページとなります。「第16回柳田邦男絵本大賞の実施について」の御報告でございます。

募集概要でございますが、目的としまして、子どもから大人までの絵本の読書活動を普及発展させるものでございます。

募集作品につきましては、例年どおりとなりますが、自分が読んだ絵本の感動、人に伝えたい絵本の感想、子どもに対する読み聞かせ体験など、幅広い内容を柳田邦男氏に送る手紙形式として書いたものでございます。

募集部門、子どもの部及び一般の部となっております。

募集期間は7月1日から9月24日、応募方法は記載のとおりとなっております。

審査ですが、一次選考はゆいの森課事務局で選考しまして、そこで絞ったものを二次選考で柳田先生に選考していただきます。

ポスター・チラシは7月から配布させていただきまして、受賞者を12月中旬までに決定したいと考えております。

賞については記載のとおりとなっております。昨年度からの変更点といたしましては、カフェ・ド・クリエカードだったのですが、それがなくなるということで、あらかわ遊園のフリーパスペアをプレゼントしたいと考えております。

10ページになりますけれども、参加賞につきましては、ゆいの森クリアファイルを予定してございます。

表彰式及び関連イベントの日程でございますが、令和6年1月28日、日曜日を予定してございます。

関連イベントの実施でございます。こちらについては記載のとおり表彰式のほか、講評・対談、特別講演等を行う予定となっております。家読写真パネル展についても昨年度から実施させていただいております。

今後の予定でございますが、区報・ホームページ等で行いまして、審査、受賞者決定という形で記載のとおり日程で実施したいと考えております。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

教育長 本件につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いたします。

小林委員 荒川区は読書によるまちづくりということに努力している自治体であり、柳田邦男絵本大賞はその中心となるイベントで、極めて重要です。また、柳田先生もとても意欲的で、ありがたいことです。多くの応募を期待しておりますので、学校の先生方にもぜひお力添えを頂きたいと思っております。

その上で幾つか質問ですが、開催が今年に関しては日曜日、例年は土曜日だったような気もするのですが、これはより多くの参加者が来てくれるようにということなのかということが1点目です。

それと、関連イベントということで、小・中学生等による絵本の読み聞かせ、家読写真パネル展、柳田邦男絵本大賞コーナーの設置等がありますが、これは昨年もやった内容かと思

われるので、昨年の反響について、お分りの範囲内で教えていただければと思っております。

それと、若干、最近ChatGPTの話題が出ておりますので、この辺りはどうなのかなという点につきまして、少し御意見をお伺いできればと思っております。

ゆいの森課長 まず土曜日、日曜日ですけれども、以前は平日、金曜日とかに実施だったのですけれども、より多くの方にといいことと、柳田先生のスケジュールの都合がありまして、それで土日変わったところがございます。生徒が土曜日の日中ですと学校に通ったりする場合もあるものですから、そう考えると日曜日の方がより参加しやすいかなというところで、一番理想の日曜日という形にさせていただきました。

あと、昨年ですけれども、家読写真パネル展、20点応募がございまして、掲示させていただきまして、来ている方が興味深く見ていただいていたと考えております。

あと、小・中学生による絵本の読み聞かせ、絵本専門誌による家読講座等を行いまして、それぞれ30から40の方に見ていただきました。

表彰式は85人程度の方がいらっしまして、講演会は70人弱の方がいらっしたという形になっております。

あと、ChatGPTでございますが、募集要項でChatGPTは禁止とか、そこまでは書いてないところですが、審査する中で、専門職の司書を中心に第一次選考をするのですけれども、そこでできるだけプロの目をもって明らかにそこから持ってきたなという機械的なものは見ていきたいと考えております。

小林委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょう。

繁田委員 去年ラジオにお出になられたのですよね、柳田邦男先生が。それで応募数が増えたのですか。

ゆいの森課長 ラジオはおととしです。それでおととしは一般の部がすごく増えたのですけれども、その反動で、去年はちょっと減ってしまったところです。

全体の応募数としては小・中学校、子どもの部がすごく伸びていまして、過去最高になったところです。

繁田委員 些末なことですけれどもいいですか。あらかわ遊園フリーパスはどんなパスですか。

ゆいの森課長 入園料込みで、大型遊具があるのですがそれに乗り放題という形です。

繁田委員 一日ですか。

ゆいの森課長 一日乗り放題です。

繁田委員 そうですか。分かりました。ありがとうございます。

教育長 そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では最後の案件になります。報告事項「第42回『あらかわの伝統技術展』の開催について」を議題といたします。青谷生涯学習課長、説明をお願いします。

生涯学習課長 「第42回『あらかわの伝統技術展』の開催について」御説明いたします。

ポイントでございます。江戸時代から受け継がれた伝統工芸技術の手作りの素晴らしさを広く紹介する事業として、第42回「あらかわの伝統技術展」を開催するものでございます。

令和5年7月7日金曜日から7月9日日曜日までの3日間、午前10時から午後5時の間、あらかわ総合スポーツセンターで開催いたします。

今回は開会セレモニーを伝統技術展初日の7月7日金曜日、午前8時50分から行う予定でございます。9時5分までとしておりますが、出席の方の人数によってはもう少し延びるかなと考えてございます。

伝統技術展の内容は、伝統工芸技術の実演、展示、販売はもちろんのこと、体験コーナーや匠育成若手職人コーナー、大太鼓演奏や相撲甚句など、例年どおりの内容に加えまして、コロナ禍で中止しておりました茶席「芭蕉庵」を久しぶりに開催いたします。

参加者は荒川区伝統工芸技術保持者、後継者、荒川マイスター、区外伝統工芸技術保持者が計53名参加する予定でございます。

昨今のコロナの影響を受けまして、荒川総合スポーツセンターにおいて3日間で「あらかわの伝統技術展」を開催するのは実に5年ぶりとなります。

区内外から多くのお客様をはじめ、今回見学を予定している区内の小学校の児童に江戸時代から受け継がれた伝統工芸技術に触れていただき、日本の伝統工芸を体感する場としていただきたいと思いますと考えております。

説明は以上になります。どうぞよろしく願いいたします。

教育長 併せて、机上にはチラシとうちわを御用意いただいております。

本件につきまして、御意見、御感想等ございましたらお願いいたします。

坂田委員 今説明がありましたように、学校からの子どもたちの見学ですけれども、学校からクラスとか学年単位で移動してきて見学するというのを、今年からまたやるということでしょうか。

生涯学習課長 そうでございます。小学4年生が今回応募していただいております、3校を除く学校すべてで小学生に今回参加していただきます。

坂田委員 分かりました。これまでしばらく停止していて残念だったので、そういう形に戻ることは素晴らしいと思いますし、実際に出展されている方々も子どもたちのにぎわいが戻って喜ばれるのではないかと思います。以上です。

教育長 そのほかいかがでしょう。小林先生。

小林先生 今QRコードで読み取ったのですが、かなり充実したページで、非常にこのQRコードはいいなと思いました。

『伝統に生きる』に関しても、ホームページの方にアップされているようなのでよかったと思います。

生涯学習課長 『伝統に生きる』は今一番新しいもので昨年度撮影しました漆塗の角光男さんの作品が載っておりますが、既に撮影が終わっております鍛金の福士豊二さんの作品は近日アップする予定でございますので、またアップできましたら御報告させていただければと存じます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

先生方もぜひ日程を繰り合わせていただいて、御参観そして御購入いただければと思っております。よろしく願いいたします。

報告事項は以上となっておりますが、最後に資料としてお付けしております教育委員会の日程等について、山形教育総務課長、説明をお願いします。

教育総務課長 15ページをお開きいただければと思います。先ほど御報告がありました2件のところが修正になってございます。

今、説明がありました7月7日金曜日、開始時間「あらかわ伝統技術展」の開会式が8時50分からというのを記載していたところでございます。また、柳田邦男絵本大賞の表彰式につきましては、以前は1月の下旬となっておりましたけれども、先ほど報告がありましたように1月28日の日曜日が表彰式と変えさせていただいたところでございます。

説明は以上でございます。よろしく願いします。

教育長 そのほかの日程等については御覧いただき、またぜひ御出席いただけるもの等については事務局まで御連絡を頂ければと思っております。

それでは、以上をもちまして教育委員会令和5年第11回定例会を閉会とさせていただきます。

了